

氏名	高橋 昇
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4275 号
学位授与の日付	平成20年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	The Feasibility of Tissue Doppler Acceleration as a New Predictor of Thrombogenesis in the Left Atrial Appendage Associated with Nonvalvular Atrial Fibrillation (非弁膜症性心房細動における左心耳での血栓形成の新たな予測因子としてのTDAの可能性)
論文審査委員	教授 成瀬 恵治 教授 谷本 光音 准教授 横山 正尚

学位論文内容の要旨

非弁膜症性心房細動患者(NVFA)の血栓形成に対し左心耳壁運動関与を評価した。血栓塞栓症(TE)を合併した NVAF 患者7名、TE のない NVAF 患者8名、洞調律患者(NSR)8名で比較検討した。左心耳壁運動を組織ドプラー加速度(TDA)にて評価した。TE 群の最大左心耳内血流速度は他の2群に比し低下していた。TE 群の左心耳内面積($8.9 \pm 2.1 \text{ cm}^2$)は非 TE 群($7.3 \pm 2.8 \text{ cm}^2$)に比し拡大傾向だが、有意ではなかった。しかし NSR 群($5.3 \pm 1.2 \text{ cm}^2$)に比し有意に低下していた。TDA が 0.024 cm/sec^2 以上の面積を計測した結果 TE 群($0.12 \pm 0.05 \text{ cm}^2$)は非 TE 群($0.33 \pm 0.17 \text{ cm}^2$)及び NSR 群($0.30 \pm 0.13 \text{ cm}^2$)に比し有意に低下していた。3群において左心耳内血流速度と左心耳壁運動加速度には相関関係がみられた。TDA を用いた左心耳壁運動加速度の評価は NVAF 患者の血栓塞栓症の予測因子になりうる。

論文審査結果の要旨

非弁膜症性心房細動患者(NVFA)の血栓形成に対し左心耳壁運動関与を評価した。血栓塞栓症(TE)を合併した NVAF 患者7名、TE のない NVAF 患者8名、洞調律患者(NSR)8名で比較検討した。左心耳壁運動を組織ドプラー加速度(TDA)にて評価した。TE 群の最大左心耳内血流速度は他の2群に比し低下していた。TE 群の左心耳内面積($8.9 \pm 2.1 \text{ cm}^2$)は非 TE 群($7.3 \pm 2.8 \text{ cm}^2$)に比し拡大傾向だが、有意ではなかった。しかし NSR 群($5.3 \pm 1.2 \text{ cm}^2$)に比し有意に低下していた。TDA が 0.024 cm/sec^2 以上の面積を計測した結果 TE 群($0.12 \pm 0.05 \text{ cm}^2$)は非 TE 群($0.33 \pm 0.17 \text{ cm}^2$)及び NSR 群($0.30 \pm 0.13 \text{ cm}^2$)に比し有意に低下していた。3群において左心耳内血流速度と左心耳壁運動加速度には相関関係がみられた。TDA を用いた左心耳壁運動加速度の評価は NVAF 患者の血栓塞栓症の予測因子となりうることを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。